ベラルーシ訪問報告会

旧ソ連のチェルノブイリ原発事故（一九八六年）による被害を少しでも減らしたいという思いで、一九九〇年に支援団体を設立しました。設立当時からのメンバーである河上雅夫さんが、今年9月23日から二週間のベラルーシ訪問を終えて戻ってきました。今回で六度目の渡航になります。

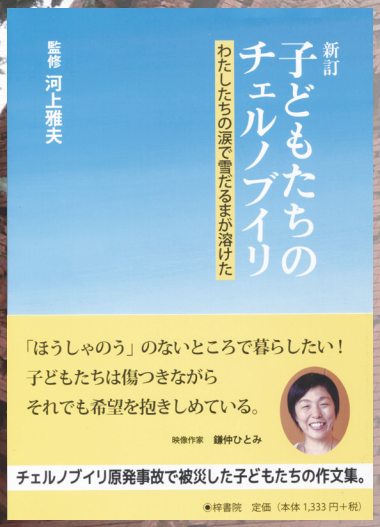
活動当初は、現地に支援物資を送ろうとするところから始まりましたが、一九九七年からは、甲状腺がんの早期診断・治療システムの構築に取り組んでいます。

「福島第一原発事故以来、ベラルーシの医師らから『今度は自分たちの経験を福島で生かしたい』という言葉が聞かれるようになりました。日本とベラルーシで互いに協力し合える道がきっとある、そう願わずにはいられません」と、河上さんは今回の訪問での感想を述べています。

日時 2013年 **11**月 **30**日（土）
14：00～16：00

会場 福岡市博多区千代3丁目2-1
麻生ハウス1階　梓書院セミナールーム

主催 株式会社梓書院
TEL092-643-7075



定価 1,400円 /A5判・並製

1995年に訪問した時に初めて会ったリュドミラ・チュブチクさん（右上）と、今回17年振りに再会することができた。

1951年、福岡県生まれ。
1990年、「チェルノブイリ支援運動・九州」の結成に参加し、運営委員として活動を継続する。
2007年、「チェルノブイリ支援運動・九州」をNPO法人化し、「チェルノブイリ医療支援ネットワーク」と改名。
2012年2月、チェルノブイリ医療支援ネットワークが「平成23年度福岡市民国際貢献賞」を受賞。
現在、（特活）NGO福岡ネットワーク理事。

報告者
河上雅夫 ●「子どもたちのチェルノブイリ」著者●

■ベラルーシ訪問報告会申込書

氏名

住所　〒

電話　　Email

お申込み・お問合わせ　株式会社梓書院　TEL092-643-7075　FAX092-643-7095